

令和4年第6回

幸手市教育委員会定例会会議録

招 集 期 日	令和4年6月21日（火）午前9時30分					
開 会 場 所	市役所第二庁舎 2階 第1会議室A					
開会の日時・宣告者	令和4年6月21日（火）午前9時30分				山西 実	
閉会の日時・宣告者	令和4年6月21日（火）午前11時06分				山西 実	
出席 状 況	職 名	氏 名	摘 要	職 名	氏 名	摘 要
	教 育 長	山 西 実	出席	教 育 委 員	高 島 勝 也	出席
	職務代理者	会 田 研 司	出席	教 育 委 員	藤 沼 寛 次	出席
	教 育 委 員	岩 崎 万 紀 子	出席	教 育 委 員	古 沢 万 友 実	出席
傍聴人：0人			書 記：大 竹 孝 典・河 口 奈 緒			
議 事 参 与 者	職 名	氏 名	職 名	氏 名		
	教 育 部 長	小 林 秀 樹				
	総 務 課 長	服 部 道 春				
	学 校 教 育 課 長	堀 越 成 夫				
	社 会 教 育 課 長	仙 田 茂 雄				

会議事件名	顛末
<p>開 会 午前9時30分</p> <p>日程第1 前回会議録の承認</p> <p>日程第2 協議事項 「令和3年度幸手市教育行政重点施策」の期末報告</p>	<p>教育長 開会を宣する。</p> <p>教育長 令和4年第5回教育委員会定例会の会議録の内容について質問を求める。      ≪質疑≫ 質疑なし。      ≪承認≫ 全員異議なく承認。</p> <p>教育部長及び各課長 「令和3年度幸手市教育行政重点施策」の期末報告について、資料により説明する。      ≪質疑≫      藤沼委員      3点お話したい。      1点目は、各事業に対する問題や課題を深堀し、優先順位をつけて令和4年度の施策等に一部反映されていると理解している。      2点目は、昨年度にさわやか相談室への相談件数が2,500件ほどあり、そのうちの1件が様子見との報告があったが、いじめのような重大事態が発生すると、教員は突発的な対応を求められることになり、働き方改革とのギャップが生まれてしまうかと思う。引き続き、いじめ防止対策に取り組み、いじめが発生しない環境づくりに取り組んでいただきたい。      また新聞等で、GIGAスクール構想で整備されたタブレット端末を使いたいじめに関する記事を目にすることもあるので、その対応に教員の頭数が取られる可能性も考えられる。      関係する部署間で情報共有しながら、スピード感を持って取り組んでいただきたい。      3点目は、幸手市統一学力調査の教科数の拡充と、1人</p>

1台タブレット端末の活用といった、確かな学力の育成に係る取組が2つ追加されたことは評価するが、テストの成績だけでは測れない様々な子どもたちの個性が引き立つような施策も更に取り入れていただきたい。

学校教育課長

2点目の働き方改革とのギャップの問題については、藤沼委員のおっしゃるとおりである。そのため、学校では、即日対応を基本に保護者や子どもに寄り添った誠実な対応を心がけている。

3点目の子どもたちの個性を伸ばす取組として、例えば吉田小学校では、オリンピックで女子バスケットボールのキャプテンを務められた方をお招きして講演会と実技体験会を開催し、自分自身の可能性を見出すといった取組を行っている。その他、部活動や他の活動を通じて子どもたちの様々な個性を伸ばせるようなバランスの取れた取組を進めていきたい。

岩崎委員

4点お話ししたい。

1点目は、主な施策「家庭学習5つの効果等のリーフレットの配布」の課題に「問題・課題のPBLに対応したリーフレットに一部改訂」とあるが、今までの教科書に沿った学習に、PBLをどう取り入れていくのか伺う。

2点目は、日数の関係で不登校にカウントされない子どももいるかと思うが、働き方改革との兼ね合いもあり難しいとは思いますが、そういった子どもたちも見捨てない取組として、どのようなことをされているのか伺う。

3点目は先日、NHKの番組で幸手市が水防に関する話題で取り上げられていたが、幸手市民は防災意識が低い印象がある。そこで、公民館で防災講座を開催してみてもどうか。

4点目は、主な施策「市民と協働による本因坊ゆかりの囲碁文化の普及」の成果として、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、協力クラブの活動自粛により事業が実施できなかったとのことだが、先日、NHKの番組でQRコードは囲碁をヒントに日本人が発明したという話を見て驚いた。

囲碁だけにとどまらずに、ICTを活用しながら市内各部署が連携して地域や子どもたちに情報提供をしていた

だきたい。

学校教育課長

1点目のPBLの実施方法だが、探究的な学習に当たり、学校の中だけでは調べきれない事を家庭で自主的に調べて、その後、学校で発表することになる。

2点目の全ての子どもたちを見捨てない取組だが、不登校は年間30日以上欠席で、病気ではない精神的な理由等によるものがカウントされるため、学校には、月に8日以上欠席した場合も月末に報告を挙げてもらっている。

なお、2日以上欠席が続いた場合は、電話連絡や家庭訪問を実施している学校が多い。

また、さわやか相談室や保健室に登校した子どもには、担任が休み時間等の空き時間に子どもや保護者と話をするといった対応を取っている。

さらに新型コロナウイルス感染症の関係で出席停止扱いとなっている子どもについても電話連絡や、可能であれば家庭訪問も行っている。

社会教育課長

3点目の防災講座だが、危機管理防災課では、各地区や団体から依頼があれば、防災士の資格を持った市の職員が、公民館や地区の自治会館を利用して防災講話を開催している。

今後、公民館と連携して防災講話の実施を継続、拡大していきたい。

4点目の囲碁文化の普及については、残念ながら令和2・3年度と事業が実施できず、令和4年度についても、事業開催の目途が立っていない状況である。

学校と連携しながらICTの活用も含めて何かできるのか検討していきたい。

古沢委員

2点お話をしたい。

1点目は、吉田小学校でオリンピック選手との交流の機会があり、素晴らしいと感じたが、中学生の職場体験については、令和3年度中止となっているかと思う。子どもの多感な時期に社会と交流を持ったり、社会の流れを知ったりすることができる職場体験は貴重な体験だと思うので、令和4年度は地域や社会と繋がる機会を増やしてほしいと感じた。

2点目は、主な施策「和食文化国民会議実施『だしで味わう和食の日』への参加を通じた食育」について、最近では家庭でだしを採る機会は少ないと思うので、給食でだしが味わえるのはとても良い取組だと思う。この給食の時には、牛乳ではなく日本茶にして、お茶を勉強する機会にもなったらいいと思う。

学校教育課長

1点目だが、コロナ禍で中止となった取組も多かったが、各学校では本日の新聞に掲載された権現堂川小学校のまこもの馬づくり体験など、可能な範囲で実施しているものもある。

今年度に入って感染者数も減少傾向にあるが、職場体験は早い段階から事業所との調整が必要なことから、実施判断に相当悩んだ状況であり、今年度も中止を決定をしているところである。

総務課長

2点目の御提案だが、給食1食当たりのカルシウムやカロリー摂取量を計算したうえで、日本茶で栄養素をカバーできるか栄養士と話し合ってみないと分からないが、提案してみたい。

高島委員

以前と比較して外国籍の子どもが増えてきており、子どもは言語習得能力が高いが、保護者はコミュニケーションが取りづらい傾向があるので、学校教育の支援だけではなく、社会福祉課やこども支援課などと連携しながら、家庭への支援も進めていただきたい。

学校教育課長

現在、県費負担の日本語指導加配教員が、約20人の子どもを、市費負担の日本語指導員が4～5人の子どもを指導しており、外国籍の子どもが約30人いる状況である。

保護者とのコミュニケーションに当たっては、市民協働課が所管する国際交流協会や、保護者の方の母国語が話せる方に通訳をお願いしたり、いない場合は、危機管理課が防災関係で購入した翻訳機を活用したりしたいと考えている。

会田職務代理者

コロナ禍であったにもかかわらず、予定していた施策がほとんど実施されたことに感謝する。

	<p>次回への要望だが、実施した事業実績を数値で示せると、より分かりやすいと思うので、検討いただきたい。</p> <p>教育長 次回、取り入れたい。</p> <p>高島委員 幸手市では今年度から実用英語技能検定団体検定料の助成を行うことについて、さいたま市が、中学3年で「英検3級程度以上」の割合が全国一位との報道があるが、同市の生徒の家庭の社会経済的背景は高いと言われ、学校だけではなく家庭や塾などでも英語力を高めていると考えられる。</p> <p>合格者の人数で評価すると費用対効果が表れづらく、助成をやめてしまうという方向になってしまう恐れがあるが、私は慣れ親しむことも重要だと考える。効果や実績といった数値ばかりに捉われず、数値に表れづらい個性を伸ばすといったところにも目を向けながら評価をしていただきたい。</p>
<p><b>専決報告第13号</b> 学校給食運営委員会委員の委嘱</p>	<p>総務課長 議案書により説明する。</p>
<p><b>専決報告第14号</b> 臨時的任用教職員の内申</p>	<p>学校教育課長 議案書により説明する。</p> <p>《質疑》 会田職務代理者 幸手中学校産代教諭の教科は何か。</p> <p>学校教育課長 国語である。</p> <p>会田職務代理者 年度途中で代替教員を探すことは大変だと思う。 新聞の報道で、県から加配教員等が充てられるものの、この枠に教員を配置することができずに新年度を迎える学校が全国的に増えていること、また、教員を目指す学生が減少傾向にあり、埼玉県では小学校の教員採用試験の競争率が2倍切っているといった記事を目にした。</p>

<p><b>日程第4</b> <b>行政報告</b> <b>1 教育長報告</b></p> <p><b>2 事務局からの 主要な報告</b></p>	<p>この場で議論してもどうにかなる問題ではないが、市内の学校で教員の空きがでないよう、学校教育課には引き続き人探しを頑張っていたきたい。</p> <p>教育長</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 各種教育長会議等</li> <li>2 幸手市議会関係</li> <li>3 人事評価に係る校長面談</li> <li>4 講演等</li> </ol> <p>について資料により説明する。</p> <p>教育部長</p> <p>令和4年第2回幸手市議会定例会一般質問(教育委員会部分)</p> <p>について資料により説明する。</p> <p>総務課長</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 幸手市教育審議会の進捗について</li> </ol> <p>学校教育課長</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 校長候補者選考及び教頭候補者選考に係る受験予定者数について</li> <li>2 令和4年度における教科用図書展示会の開催について</li> <li>3 今後の主な行事</li> </ol> <p>社会教育課長</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 第3回幸手市社会教育委員会議</li> </ol> <p>社会教育課長(公民館)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 6月の利用状況</li> <li>2 事業報告</li> <li>3 今後の事業予定</li> </ol> <p>社会教育課長(郷土資料館)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 報告事項</li> <li>2 今後の事業予定</li> </ol> <p>社会教育課長(図書館)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 報告事項</li> </ol>
--	---

<p><b>日程第 5</b> <b>その他</b> <b>1 次回定例会の 日程</b></p> <p><b>2 次回の協議事項</b></p>	<p>2 利用状況 3 今後の事業予定 4 予約の多い図書（上位 5 冊） 5 購入図書リスト</p> <p>社会教育課長（体育施設）</p> <p>1 利用状況 2 自主事業 3 今後の自主事業 について資料により説明する。</p> <p>《質疑》</p> <p>岩崎委員</p> <p>小林啓子議員からの一般質問に対する答弁で、市内小・中学校では熱中症対策の一つとして水筒を持参させているとの話があったが、持参した水筒だけでは足りず、水道から補充している子どももいるかと思う。</p> <p>以前、PTAの役員を務めていた際に、PTA会費から冷水機を購入したことがあったが、市でこういった計画はないのか。</p> <p>教育部長</p> <p>冷水機の設置の実態は、学校によって異なっている。熱中症対策として、どのような対応が効果的か、今後、検討していきたい。</p> <p>各委員の意見を調整した結果、7月の定例会については、次のとおり決定する。</p> <p>第7回教育委員会定例会 日時 令和4年7月12日（火） 午前9時30分 場所 市役所第二庁舎 2階 第1会議室A</p> <p>総務課長</p> <p>協議の結果、「ICT機器の活用と実践」について、議題とする。</p>
---	--

**閉 会**  
午前 11 時 06 分

教育長  
閉会を宣す。

<p>ほか特に重要 と認める事項</p>	<p>な し</p>
	<p>上記会議の顛末を記載し相違ないことを証するため、ここに署名する。</p> <p style="text-align: right;">令和4年 7月12日</p> <p style="text-align: center;">教 育 長 山 西 実</p> <p>署名</p> <p style="text-align: center;">署 名 委 員 岩 崎 万 紀 子</p>